



(第三小学校) 久原千恵



(第二小学校) 杉町紘一郎

### 新しい先生、 ようこそ東久留米へ!

今年の4月から、市立小中学校に配属されたフレッシュな30人の先生をご紹介します(敬称略・行政順)。



(第五小学校) 常山麻子



(第五小学校) 大沼利奈



(第三小学校) 杉 まなみ



(第三小学校) 坂口華那



(第七小学校) 矢島健思



(第七小学校) 梅田幹人



(第七小学校) 石川真理奈



(第六小学校) 星 節子



(神宝小学校) 市川まゆ



(小山小学校) 谷村佳祐



(第十小学校) 久保結以



(第九小学校) 小俣優衣



(南町小学校) 森脇雄史



(南町小学校) 原 智美



(南町小学校) 大鶴奈津美



(神宝小学校) 宮古和樹



(東中学校) 木村穂奈美



(東中学校) 石田茂治



(久留米中学校) 亀本実世



(南町小学校) 矢島直道



(南中学校) 田中 玲



(南中学校) 小嶋辰彦



(西中学校) 新井晋太郎



(東中学校) 櫻井隆広



(中央中学校) 高野愛子



(下里中学校) 伊藤雅彦



(大門中学校) 西丸ひとみ



(大門中学校) 佐々木知花

「一面から続く」両面から、成果を数量的に検証したことです。とりわけ児童の変容を読書力診断検査等を活用して、学力面を数量的に検証したことに大きな意義があります。検証の結果、読書量や読書力の向上とともに、読解力が飛躍的に伸びたことが実証されました。しかし、学校図書や蔵書管理システムはあくまでも手立て(教育資源・道具)にすぎず、肝心なことは、道具の使い手(教員)と使い手であり、本校では次の三つの柱を立てました。

『本の出会い』『子どもたちがさまざまな分野の本と出会い、多様な読書ができるように、読書環境づくりに努めました。読書量の増加とともに、意識面でも大きな変容が見られます。』

「『さらなる学校図書館の支援』『学校図書館整備計画を推進する』」

先日、国民栄誉賞を長嶋茂雄さんとタフル受賞した元メジャーリーガーの松井秀喜さん。昨年の新聞記事に、彼を高校時代に指導していた野球部の監督は、野球指導のほかに、高校球児であった彼の人間性を豊かにし、精神力と忍耐力を高

めるため、「1000本ノック」ならぬ「1000冊ノック」を3年計画で行ったことが書かれていました。松井さんは過酷な練習後の片道1時間の通学時間を読書に充て、監督が選んだ歴史に始まる多様なジャンルの書籍を読破していったそうです。彼の謙虚でふれない生き方は話題になりましたが、元来の性格もあるとは言え、多感な時期に「1000冊ノック」を受けたこと(松井さん流に言うところ「受けさせていただいた」)になるでしょう(か)は、後の彼の精神力を高めることに大いに影響があったと思われま

### 市の奨学資金制度(給付)のご利用を

～対象は都立・私立(高専・専修含む)に通う正規の修業年数の方

市教育委員会では、奨学意欲がありながら、経済的事情により、高等学校等への就学が困難な市内在住の学生(正規の修業年数の方)を対象とする、「奨学資金制度」を設けています。申し込み等詳しくは、7月1日号の広報をご覧ください。

☆小学校に、新しく特別支援学級を開設☆  
平成25年4月、市立第六小学校に通級指導学級「ことばの教室(言語)」「きこえの教室(難聴)」「すずらん学級(情緒障害等)」が、また、市立南町小学校に固定学級「ひまわり学級(知的障害)」と「たけのこ学級(自閉症・情緒障害)」が新設され、それぞれ4月に開校式が行われました。

■□ 教育相談室のご利用を □■  
いじめや勉強のことなど、学校生活で悩んでいることがあれば、一人で悩んでいないで、市教育委員会の「教育相談室」にご相談ください。

「東久留米市 小・中連携教育実践報告書」  
まともまる  
市教育委員会では、教育目標を受けた五つの基本方針の一つである「確かな学力の育成」を実現するために、小・中連携教育の推進を重要課題と考えていま

この成果をまとめた「市小・中連携教育実践報告書(24年2月)」及び「市小・中連携教育実践報告書II」児童・生徒による直接交流計画及び検証授業計画報告書(25年2月)は、いずれも子どもたちの学習意欲を呼び起こし、学力の定着にも大きく役立つものです。小学6年生が中学校の生活を実際に体験する「中学校体験入学報告」や教育内容の系統性を踏まえて基礎・基本の確実な定着を徹底するために実践した「検証授業」の報告となっています。直接、子どもにかかわる教員だけではなく、ご家庭でもぜひ一読ください。